

平成 29 年 2 月吉日

世田谷区立桜小学校
校長 早川隆之 様

世田谷区立桜小学校
学校評価委員会

平成 28 年度 学校関係者評価報告書

本年度の世田谷区立桜小学校学校関係者評価報告書を、
アンケートやヒアリングをもとに取りまとめましたので報告いたします。

<学校関係者評価委員>

委員長：野村敦司

委員：鬼頭清美、田村隆行、藤田乙仁枝、山田和美（五十音順）

<学校関係者評価委員活動>

平成28年 6月：評価委員説明会

7月：第1回評価委員会

9月：第2回評価委員会

平成29年 1月：教員ヒアリング実施（その他、個別にヒアリングを適宜実施）

1月：第3回評価委員会（アンケート・ヒアリング分析）

2月：学校関係者評価報告書 作成・提出

<学校関係者アンケート集計結果分析>

児童共通評価項目

・5年生は概ね学校生活に満足している回答が多いが、6年生の方は5年生に比べるとやや回答にばらつきが見られた。特に、先生に対して「公平さ」や「話を聞いて欲しい」という項目が顕著に現れていた。

・桜木中学との地域交流に関しては、あまり積極的にできていない印象だった。

地域共通評価項目

・学校行事に対して、地域の方々がとても協力的であるのは数字上も見て取れた。

保護者共通評価項目

・「学び舎」に関しては（アンケートの実施時期の影響もあるが）、認知度がまだ足りていないという印象だった。

・家庭内において、あまりお手伝いをさせていない家庭も多いようだった。

学校独自アンケート

・挨拶や家庭内での会話に関しては問題がないように見受けられるが、普段からの姿勢や計画的な家庭学習については、5年生・6年生ともに否定的な意見が多かった。

自由記述

・組体操がなくなったことに対しての声がいくつか見受けられた。組体操がなくなったことよりも、変更していく過程についての不満だともとらえられた。

・昨年度との比較になってしまうが、ホームページの取り組み方に対しての意見も多かった。

<教員・地域・保護者ヒアリング>

教員の方々のグループヒアリングを1回、またそれぞれ個別に地域や保護者に対してヒアリングを行った。グループヒアリングではなかなか本音の部分まで出づらいものがあると考え、グループヒアリングだけではなく個別にヒアリングを行うようにした。

<考察>

- ・「学び舎」の情報周知や桜木中との連携に関しては、必ず上がってくるほどの例年の課題ではあると思いますが、問題視する優先順位としては低いという気がいたします。
- ・「組体操の廃止」に関しては様々な意見がありますが、廃止したことよりも廃止した上で何をやるか、またはその説明などに関してもっと手順を踏んで欲しかったという「経過の問題」ととらえている方が多かった気がします。
- ・ホームページの活用などについては、日常の業務で忙しいことは重々に承知していますが、このホームページでしか学校と関われる時間をなかなか割くことができない保護者がいることも考えると来年度における重要な課題であると考えられます。また、学年だよりに集約せずに、児童の様子が具体的にわかるクラスだよりを望む声も上がっています。
- ・学校側でPTA・地域などとの連携の中で、事務作業において滞ることが多くなったなどの不満が数多く聞かれました。一部の方に事務作業が集中してしまうためなのかわかりませんが、もう少し学校全体で対応できるような幅も必要な気がします。
- ・学内・学外を通して以前よりあいさつをしない児童が増えた、という声が上がっています。特に学内においては、先生方も率先して挨拶をしていただき、児童のよき見本として啓蒙していただけると有り難いです。
- ・受験を控えた6年の児童が授業を欠席するというのが非常に目だったという声がありました。中には長い期間で登校しないという児童もいたようです。ナイーブな問題ではあるので先生方から直接に注意はしづらいと思いますが、「義務教育」期間ではありますので、学年だよりなどで注意喚起を促す程度のことはあってもいいと思われます。

<総括>

こういったアンケート調査やヒアリングを行うと、通常はネガティブな意見だけが目になってしまうことが多いのですが、それ以上に桜小学校を好意的に支持していることが伝わってきました。「学校が楽しい!」という思いを数多くの児童が持っている、信頼されている学校なのだと思います。「桜スタンダード」と呼ばれる基準となるものが、先生方の中でしっかりと書面で受け継がれていることも、その一因なのだと思います。

また、桜小学校の特徴として地域や保護者との関わりがとて強いということがよく挙げられます。その分教職員の方々や地域の方々・PTAに負担がかかることも多いのですが、それを苦にせず前向きになっていただける方々が多かったのも印象的です。今後も全員で桜の子どもたちを見守り支えていくことを目指していただきたいと思います。

今後もよりよい桜小学校にしていくために、寄せられた意見には真摯に耳を傾けていただき、学校としてPTAとしての見解をフィードバックすることを忘れずに取り組んでいただければと思います。取りまとめた学校関係者評価報告書が、学校運営の一助となることを願って報告と代えさせていただきます。